



東風

OPEN

教育目標

『明るく伸びる子』

○考える子 ○助け合う子 ○やりぬく子
○じょうぶな子

【めざす子ども像】

豊かな心で自ら学びたくましく生き抜く子



「卒業・修了の日に寄せて」

令和2年3月24日発行 第14号

岩内東小学校長 齊藤 信之

西の空を赤く染める夕日の美しさが際立つこの頃となりました。姿の見えない敵との闘いに疲弊している間にも季節はめぐり、ふさがちな心を慰めるかのように温かくやさしい春の光が届くようになりました。

学校中に「ありがとう」の思いが満ちあふれ、一年の中で最も素敵な雰囲気にも包まれるはずの最後の一カ月を突然失いました。何かとても大切なものを置き忘れてきたような思いでいっぱいです。卒業やクラス替えを意識し、つながり合う喜びと思いを強めながら過ごす時間は、何も埋まることなくぽっかりと空いたままとなっているのは、子どもたちも先生たちも同じです。保護者の皆様には不安や戸惑いの連続だったことと思いますが、一斉休校、荷物の引き渡し、分散登校等、学校から発する矢継ぎ早のお願いをご理解いただき、一つ一つにご協力いただきましたことに改めて感謝申し上げます。

特に卒業生の保護者の皆様におかれましては、卒業式が行われるのか、保護者は参列できるのか、直前まで気をもまれたことと思います。苦渋の決断とはいえ、我が子の成長の喜びと感動を分かち合う式への参加が叶わなかったことの無念さは、察するに余りあります。

また、小学校でのすべてを学び終えた証としての一人一人への証書授与、在校生の思いの詰まった呼びかけや歌声など、これまで目にしてきた卒業式とは大きく様相の異なる式となったことを誰よりも残念に思っているのは、50名の卒業生たちに他なりません。楽しかったことも苦しかったことも、小学校で経験したすべてのことは、この先の中学校生活の中で何かを乗り越える際の大きな力になると信じ、胸を張って新たな世界へ飛び立ってほしいと思います。一人一人の卒業生にとって、未来の自分へと続く中学校時代が、明るく充実した時間となることを心からご祈念いたします。

そして本日、休校が続く中、大きな節目である修了の日を迎えました。代表児童への修了証書の授与は行わず、校内放送で一年間の子どもたちの頑張りを認めるとともに、離任される先生方を知らせました。下校時には、間隔を取って並んだ離任者の間を子どもたちが通り抜けてお別れとしました。

新学期のスタートへの不安は残りますが、平常通りに始められるものとして準備を進めています。この後、国や北海道からの動きがあるようですので注目したいところです。急な連絡には、引き続き安心メールを活用しますのでご協力をお願いいたします。

学校は、明日から春休みに入ります。「休みは、もういない」との声も聞こえてきそうですが、引き続き感染予防に最大限の注意を払いながら、新学期のスタートに向けて心身や学習用具の準備をよろしくお祈りいたします。毎日のチェックシートをのぞかせてもらったところによると、日中の活動量が減ったせいかわ眠たくならずに就寝時刻が遅くなり、伴って起床する時刻も遅くなっている子が多いように感じました。春休みの期間に生活リズムを取り戻せるよう、ご家庭でもご配慮いただけますようお願いいたします。春風に背中を押され、満面の笑顔で友だちと肩を並べて登校してくる日を心待ちにしています。